

平成24年度 向日市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会
 要点録

開催日時	平成25年2月18日（月）午後2時～午後3時45分
開催場所	向日市福祉会館 大会議室（3階）
委員長	八木橋委員
出席者	八木橋委員長、鈴木委員、出射委員、村山委員、疋田委員 南橋委員、木村委員、高橋委員、川本委員 （以上9名）
欠席者	植田副委員長、高桑委員、廣川委員、小林委員
傍聴者	なし
議事	(1)介護保険事業の実施状況について (2)高齢者福祉サービス及び地域支援事業の実施状況について (3)地域密着型サービス等の整備状況について (4)その他
資料	① 介護保険事業の実施状況 ② 高齢者福祉サービス及び地域支援事業の実施状況 ③ 向日市の地域密着型サービスの整備状況 ④ 市内の地域密着型サービス事業所の整備状況

事務局	<p>お待たせいたしました。</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から平成24年度向日市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会を開催させていただきます。</p> <p>委員の皆様方には、大変お忙しいところ、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議は、お手元にお配りしております会議次第により進めて参りますのでよろしくお願い致します。</p> <p>私は、本日の司会進行を務めさせていただきます高齢介護課の〇〇でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会に先立ちまして、委員長からごあいさつをお願いします。</p>
委員長	<p style="text-align: center;">【 委 員 長 挨拶 】</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、先日お手元にお届けさせていただきました資料を確認させていただきます。</p> <p>○会議次第 ○資料1「介護保険事業の実施状況について」 ○資料2「高齢者福祉サービス及び地域支援事業の実施状況について」 ○資料3-1「向日市の地域密着型サービス等の整備状況について」 ○資料3-2「市内の地域密着型サービス事業所の整備状況」 ○委員名簿 以上6点でございます。ご確認願います。</p> <p>続きまして、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。</p> <p>今回の会議から新たにご就任をいただきました委員もおられますので、改めまして、自己紹介をお願いいたします。</p> <p>(委員長から順に)</p> <p>なお、新委員としてご就任いただいた〇〇委員と〇〇委員、〇〇委員、〇〇委員は、本日所用のため欠席でございます。</p>

	<p>また、幹事につきましても、人事異動により新たに任命されておりますのでご紹介させていただきます。 それぞれ、自己紹介をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">《 幹事、事務局 自己紹介 》</p>
事務局	<p>ありがとうございました。 それでは、これより、議事に入らせていただきますが、本策定委員会設置要綱の規定により、委員長が議長を務めることと規定しておりますので、ここからの議事進行につきましては、委員長にお願いしたいと存じます。 委員長よろしくをお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、これより私が議長を務めさせていただきます。 スムーズに議事が進行しますよう、委員の皆さまのご協力をお願い致します。 それでは、議事に入りますが、本委員会は、原則公開で運営いたします。 本日の議事の内容につきましては、向日市情報公開条例第6条各号のいずれかに該当し、非公開とすべき情報は含まれておりませんので、会議を公開することといたします。 事務局から本会議についての傍聴希望者の有無について報告をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の傍聴希望者はございません。</p>
委員長	<p>それでは、このまま続けさせていただきます。 平成24年4月から始まりました第6次向日市高齢者福祉計画及び第5期向日市介護保険事業計画がまもなく1年を迎えようとしています。 本日は、この計画の進捗状況等につきまして、委員の皆様から多くのご意見をいただきたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。 それでは、第1点目の「介護保険事業の実施状況について」</p>

事務局	事務局から説明をお願いします。
委員長	<p style="text-align: center;">【 介護保険事業の実施状況について説明 】</p> <p>ただ今の説明に対しまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>9ページのサービス給付費の推移のところ、先程訂正のあった短期入所療養介護費が平成22年に比べ23年が76.5%と数字が落ちている理由について教えて頂きたいのが1点と認知症対応型共同生活介護については、毎回大きな伸びになっているが、この項目については向日市に少ない施設だから強化しているのか、また先程の説明の中で施設サービスが伸びないのは新しい施設が近隣に新設されないからとおっしゃっていたが、施設を新設しない分をグループホームの増設で賄っているのではないのか。</p> <p>認知症の方が増えているのでその対策として意図的に行っているのならばいいが、グループホーム建設についての市の考え方についてお聞きしたい。</p>
事務局	<p>まず、2点目のグループホームの質問から先にお答えします。</p> <p>ご質問いただいたグループホームにつきましては、一般の施設サービスとは違い、4施設すべてが地域密着型サービス事業所で、向日市民のみが入所できる施設でございまして、高齢者の増加に伴い、認知症の方も増えておりますし、建設を要望する声も多くいただいておりますことから、その対策として整備をいたしました。</p> <p>一般の施設サービスについては、そのような決まりはございませんので、本市の施設向日市外の方も入所されますし、その裏返しもあるわけですが、近年新設される施設もございませんので、施設サービスの数字が伸びないという状況になっております。</p> <p>一方グループホームについては、平成22年、23年と2年</p>

	<p>続けて新設し、2事業所から4事業所に増設したため、目立った数字になったものと存じております。</p> <p>続きまして、ショートステイのご質問にお答えします。</p> <p>ショートステイについては、表を見て頂くとわかりますように、短期入所生活介護と短期入所療養介護の2種類がございまして、両者の違いは、短期入所生活介護は、特別養護老人ホームで提供されるショートステイで、短期入所療養介護は、老人保健施設や介護療養型医療施設など医療系の施設で提供されるショートステイを指しており、今回数字が減少しているのは後者の短期入所療養介護の方でございます。</p> <p>このサービスの推移を見てみますと、第2期には年間で4千万円以上の多くの利用があり、次の第3期では半分程度の利用に落ち、また第4期で利用が伸び23年度で下がるというように、乱高下を続けており、ロングショートなど1人で多くの利用をされる方がおられた年度は数字が上がり、逆にそのような利用者が施設入所されたり転出されたりして利用されなくなった時には数字が下がるということで、このような現象が起きていると思われまます。</p> <p>委員</p> <p>地域密着型サービスの中で、小規模多機能型居宅介護サービスの使い勝手が悪いので利用登録が伸びないという状況であるが、それについて市としてどう考えているのか。</p> <p>また、地域密着の数字は伸びているが、施設サービスの特別養護老人ホームや老人保健施設のサービス利用が伸びないことへの対策についてもお聞きしたい。</p> <p>事務局</p> <p>まず、小規模多機能型居宅介護サービスについてお答えします。</p> <p>小規模多機能型居宅介護サービスはご承知の通り、デイサービスを中心としながら、訪問介護とショートステイを組み合わせることで利用者の使いたい時に利用するというサービスですが、基本の部分はやはりデイサービスになりますので、事業所や利用者からお聞きするのは、デイサービスについては既に馴染みの事業所があるので、小規模多機能型居宅介護サービスは便利だ</p>
--	---

	<p>から利用したいと思っけていても、馴染みの事業所から新しいところに移るのが嫌だとおっしゃる方が多いようです。</p> <p>新規申請の方や転入して来られた方など、馴染みの事業所がなく始めてサービスを利用する方は使い易いのですが、そのような対象者はあまり多くありませんので、市内のケアマネジャーが集まる会議などでPRをしておりますが、利用者が増えないというのが現状でございます。</p>
委員	<p>結局1つの事業所でまとめて利用するところがネックになっている。</p> <p>別々の事業所で利用できないという制度上の問題があるのではないか。</p>
事務局	<p>委員のご指摘のとおりだと思います。</p> <p>小規模多機能が、制度として使いづらいものになっているということで、このような状況は全国的に起こっているもので、根本的な制度の見直しについて、国に対して働きかけて参りたく存じております。</p> <p>また、ご指摘の特養や老健など施設サービスの整備等についても今後検討して参りたく存じております。</p>
委員長	<p>詳細なサービスの利用状況については、また別の機会にきちんとした数字がわかるということですね。</p>
事務局	<p>第5期の中間年になりましたら、もっと詳細な数字が把握できるものと存じております。</p>
委員	<p>12ページの介護保険料の状況で、未収額がかなり多くなっているが市としてどのような対策を講じているのか。</p>
事務局	<p>未収額は、全額が納付書等で支払う普通徴収の方で、現年だけでなく滞納分もほとんどが未収となりプラスされますので、大きな金額になっております。</p> <p>保険料を滞納されると、介護サービスを利用する際に給付制</p>

	<p>限がかかるなどの罰則規定がございますので、そのようなことにならないよう納付指導や納付相談を強化し、実施しております。</p>
委員	<p>未収額が何年経つと時効になるのか。</p>
事務局	<p>2年経つと時効になり、不納欠損処理を行います。</p>
委員	<p>介護保険料を払っていなかったらサービスは利用できないのか。</p>
事務局	<p>全く利用できないのではなくて、滞納している期間に応じて自己負担額を1割負担ではなく3割負担にする給付制限を行うなどして利用して頂く形になります。</p>
委員	<p>生活保護受給者の介護保険料は、保護費にプラスされているのか。</p>
事務局	<p>生活保護受給者につきましては、本人の了解を得て、保護費に上乗せになっている部分を直接納付いただく代理納付制度により、100%介護保険料は納付いただいております。</p>
委員	<p>介護保険も国民健康保険のように、滞納者に対して保険証ではなく資格者証を発行するなどの措置をとっているのか。</p>
事務局	<p>制度としては似通ってはおりますが、介護保険に関しては保険証を回収し資格者証を発行するなどの厳しい措置は取っておりません。</p> <p>現実として、保険料を滞納してサービスを利用している方はほとんどおりませんし、ごく一部少数の方で滞納して給付制限がかかる方がおられますが、国保に比べ本当に少ない数に留まっております。</p> <p>今後、そのような方がもし増えるようなことがございましたら、解決に向けての方策を考えていきたいと存じております。</p>

<p>委員長</p>	<p>利用制限の方は本当に少数で、市として政策的に対応するというレベルではなく、個別レベルで何とかなっているということですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>国保と比べるとそれ程深刻なレベルではないというのが現状でございます。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に意見はございませんでしょうか。 それでは、次に、第2点目、「高齢者福祉サービス及び地域支援事業の実施状況について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">【 地域支援事業の実施状況について説明 】</p>
<p>委員長</p>	<p>ただ今の説明に対しまして、ご質問等がございましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>まず、1点目は、配食サービスについて、最近では「ワタミ」など民間事業者が多く参入している中で、市の事業として配食サービスを実施する意義についてお聞きしたいのと、2点目として、福祉電話の貸与について、どのような機種の電話をお貸ししているのかなど事業の詳細についてお聞きしたい。 また、3点目として、認知症支援関係事業について説明を聞いたが、京都市や長岡京市では、認知症の方に対して小型のGPS発信機の貸出事業の実施や、成年後見支援センターの開設等本市に比べ制度がすすんでいるように思うが、市としてその点についてどのように考えているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず1点目の配食サービスについてのご質問でございますが、現在のところ民間の参入について数社確認しております。 少しずつ増えてきているというのが現状かと認識しております。 本市で実施している配食サービスのメリットですが、最大週4回、昼、夕食を4食までご利用いただける点と、夕飯の配</p>

<p>委員</p>	<p>食を行っている自治体が少ない中で、夕飯の配食を実施している点がメリットとして挙げられます。</p> <p>また、配食と同時に安否確認を行っており、お届けした際に何か少しでも普段と変わったことがあれば、必ず事務局に報告するよう義務付けております。</p> <p>続きまして福祉電話についてですが、平成24年度は10台貸出を実施しております。</p> <p>何を貸出すのかと申しますといわゆる固定電話の回線の貸出を行っております。</p> <p>この事業につきましては、別に実施しております「あんしんホットライン事業」いわゆる緊急通報装置でございますが、こちらを取り付ける際に固定回線が必要となりますので、福祉電話単独ではなく、セットで利用されるケースが多くなっております。</p> <p>続きまして、認知症対策でございますが、報告書に載せているもの以外に相談事業や交流会の開催など様々な事業を実施しております、その中でも特に力を入れておりますのが、「認知症サポーター養成講座」と「認知症徘徊模擬訓練」でございます。</p> <p>今一番徘徊が問題になっておりますので、認知症徘徊模擬訓練については、継続的に事業を実施しております、開催回数は多くはございませんが、地域との結びつき等もできてきておりますので、その辺は効果があったのかなあと感じております。</p> <p>次に、ご指摘のありましたGPS発信機の貸出事業でございますが、現時点で実施等について考えてはおりません。</p> <p>他市の状況を聞いておりますと、対象者が発信機を身につけられないなどの問題も発生しているとのことですので、その辺りのことについて今後研究して参りたく存じております。</p> <p>また、成年後見人制度や他市の認知症対策について、ご指摘いただいた点も踏まえ今後検討して参りたく存じております。</p> <p>福祉電話やあんしんホットラインの利用について質問するが、向日市では一人暮らし高齢者が2千人以上、高齢者世帯の</p>
-----------	--

<p>事務局</p>	<p>方が3千人以上おられるわりに利用者が少ないのは、利用制限が厳しいからではないのか。</p> <p>ご主人が奥さんを介護されていてご主人自身も障害や持病があっても、一人暮らしじゃないので、あんしんホットラインを利用させてもらえない等の話を聞くが、もう少し利用対象者を拡大し、制限を緩和してほしい。</p> <p>次に、高齢者虐待に関する相談であるが、平成24年度に入り激増し、現時点で200を超える相談件数となっており、そのほとんどが解決の目途が立たない困難ケースである。</p> <p>高齢者虐待については、もっときめ細かな対応が必要なのではないか。</p> <p>次に、介護者リフレッシュ事業であるが、参加者が年々減少しており、定員50名に満たない状態が続いている。</p> <p>介護者を集めて美味しい食事で釣るというのではなく、もっと内容自体を充実させてほしい。</p> <p>せっかく社会福祉協議会に事業を委託して行っているのだから、介護者にとってためになるような有意義な内容にすべきである。</p> <p>まず、あんしんホットラインでございますが、ご指摘のとおりサービス利用は基本的に一人暮らしの方に限定されますが、例えば高齢者世帯の方でご主人が長期入院などで一時的にお一人になられて、あんしんホットラインが必要となるような場合には、制限を緩和してご利用いただいております。</p> <p>数年前からこのようなご指摘をいただいておりますが、順次制限についても緩和をしておりますが、結果として急激には対象者が増えていないというのが現状でございます。</p> <p>次に、高齢者虐待についてのご質問でございますが、相談件数が急激に増えておまして、実際に虐待を確認した件数が現時点で昨年度の約2倍という状況でございます。</p> <p>先週、地域包括センター運営協議会を開催いたしました。そこでもこの件について協議させていただきました。</p> <p>解決件数が少ないというご指摘がございましたが、解決の定</p>
------------	--

	<p>義が「完全に虐待の状態がなくなること」でございますので、全く対応ができないのか対応をしていないということではございません。</p> <p>一時的に加害者から離れて施設に入るなどの措置をとった場合には、一時保護という形で対応はできておりますが、虐待自体はなくなったわけではございませんので解決件数には含まれないため、解決件数が少なくなっております。</p> <p>今後、定義の見直しも含め検討して参りたく存じております。</p> <p>最後に、介護者リフレッシュ事業については、以前からいろいろとご意見を頂戴しており、少しずつではありますが改善を図っておるところでございますが、なかなか良い案が出て来ないのが現状でございます。</p> <p>今年度はあと1回事業が残っておりますので、皆様からのご意見を伺いながら事業の見直しを図って参りたく存じております。</p>
委員	<p>高齢者虐待一時保護という制度は、長岡京市のガイドブックには載っているが、向日市のガイドブックには載っていないが制度自体を行っていないのか。</p>
事務局	<p>虐待を確認し一時保護が必要な時に、すぐに対応できるよう、介護施設と契約し、ショートステイ用の部屋を1部屋確保しており、緊急的に保護が必要な時にはご利用いただいております。</p> <p>本年度は、高齢者虐待一時保護の利用件数は1件で、平成23年度も同じく利用件数は1件でございます。</p>
委員長	<p>他に意見はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、次に、第3点目、「地域密着型サービス等の整備状況について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">【 地域密着型サービス等の整備状況について説明 】</p>

委員長	ただ今の説明に対しまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。
委員	キャビックが実施する夜間対応型訪問介護サービスについては、もう始まっているのか。
事務局	平成21年度に事業指定をしておりまして、指定当時には、1名から2名の利用があったように聞いておりますが、現在の利用者は確認しておりません。
委員	事務所からかなり距離があるが、対応可能なのか。
事務局	事務所のある梅津から向日市までかなり離れておりますが、サービス提供地域の中に入っており派遣可能とのことでしたので、事業所指定をさせていただきました。
委員	夜間対応型訪問介護サービスについては、向日市のガイドブックでは、平成24年4月現在サービスは行っておりませんとの表記になっているが。
事務局	向日市内の事業所が実施しておりませんので、そのような表記になっておりますが、ケアマネージャー等に対しては、利用可能なサービスとして説明はしております。
委員	夜間対応型訪問介護は、ヘルパーを派遣してもらわなくても、契約をしたら1,000点がかかるのがネックになっている。
委員	夜間の場合は、利用料も高額なので、利用するのが厳しいのではないか。
委員	サービスを利用した場合は、契約料の1,000点にプラスして利用料が掛かってくるので利用料金が高額になるため利用者が増えて来ない。

事務局	<p>夜間対応型につきましては、夜間のみの対応になりますが、今回上植野に整備しました定期巡回・随時対応型訪問介護看護については、24時間対応で、利用料は小規模多機能と同じく定額制になっており、何回利用しても金額は上がりませんので、回数を多く利用される方はそちらを選択されるものと存じております。</p>
委員	<p>定期巡回の新しい施設の話が出たので、これは質問ではないが、聞くところによると、定期巡回のサービスを利用される方は、パートナー文橋に入所させて、そこにヘルパーを派遣して巡回させるだけとそれがすべてではないと思うが、そのような実態では、地域密着型サービスではなく施設サービスとどこが違うのかということにも成りかねないので、その辺りについて、指定権者である向日市がしっかりと指導して、そのようなことにならないようにしていただきたい。</p>
事務局	<p>訪問介護センター文橋につきましては、1月6日に事業を開始いたしまして、現在3名の登録がございますが、委員のおっしゃるとおりすべての方がパートナー文橋の入所者でございます。</p> <p>本市といたしましては、ご指摘のあったような状況にならないよう、指定前から千春会さんとは話し合いをさせていただいておりますので、今のところは施設外の利用者はおりませんが、今後ケアマネージャーさん等を通してサービスについての認知が進めば、施設外への利用者もでてくるものと存じております。</p>
委員長	<p>それでは、全体を通しまして、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いします。</p>
委員	<p>向日市の介護保険事業計画策定委員会ということで、数字を見せてもらって、現状これで向日市のサービスが充実しているかどうかということの判断をするわけだが、なかなか数字を見ているだけでは分かりにくい。</p>

	<p>ずっと本日の説明を聞いていると、施設サービスについてはこれ以上は増えない、既存の施設が増えないので、利用量も増えて来ないということで、これは国や京都府の方針もあるかと思うが、どちらかという地域密着型サービスの方を充実させ、増やしているという方向に進んでいる。</p> <p>施設サービスが増えるとどうしても介護保険料が上がるので、その辺が難しいところなのかとは思うが。</p> <p>今日の話で一番気になったのは、認知症対策である。</p> <p>5年位前は2市1町の中で、認知症対策については向日市が一番進んでいたが、ここ1、2年は長岡に遅れをとっているように思う。</p> <p>特に先程言われていた権利擁護とか高齢者虐待の件数が非常に増えてきているという状況があり、4月から地域包括支援センターを3箇所を増設し、それらに対応されることと思うが、やはり突出して数字が多いのであれば、先程お話が出ていた個別のセンターを作るなど向日市の人口でそれが本当に必要なかはわからないが、そのような対策をとることも必要な気がする。</p> <p>非常にいろんな要望が飛び交っており、どこに相談をしたらいいのかが分かりにくい状況がある。</p> <p>今後認知症の方が増えていくのは明らかであり、向日市の中で認知症に専門的に対応できる人材の育成が急務となっている。</p> <p>長岡京市はその点をしっかり実施されており、向日市はその点が遅れているように思う。</p>
事務局	<p>委員のおっしゃるとおりだと思います。</p> <p>認知症対策については、様々な機関と連携しながら、適切な対応を行って参りたく存じております。</p>
委員	<p>2月8日に長崎でグループホーム火災が発生し、死者が出ているが、その後、向日市において、防火に対する対策や検査等を実施されているのか。</p>

事務局	<p>2月8日の事故を受け、2月13日に乙訓消防本部、乙訓土木事務所、向日市高齢介護課の3者合同で、本市のグループホーム4施設に対し、緊急立入検査を実施いたしました。</p> <p>本市のグループホームにつきましては、すべての施設にスプリンクラーを設置しており、避難経路の確保や自動火災報知機など法令違反は一切なく、適正に実施されていることが確認できました。</p>
委員長	<p>他にご意見はございませんでしょうか。</p> <p>ご意見がないようでしたら、時間も少し過ぎておりますので、本日の会議はこのあたりで終了させていただきます。</p> <p>委員の皆様には、スムーズな議事進行にご協力いただきまして、どうもありがとうございました。</p>